

はじめての宇宙データ



宇宙カレンダー (<http://www.isas.jaxa.jp/home/showcase/calendar/>)

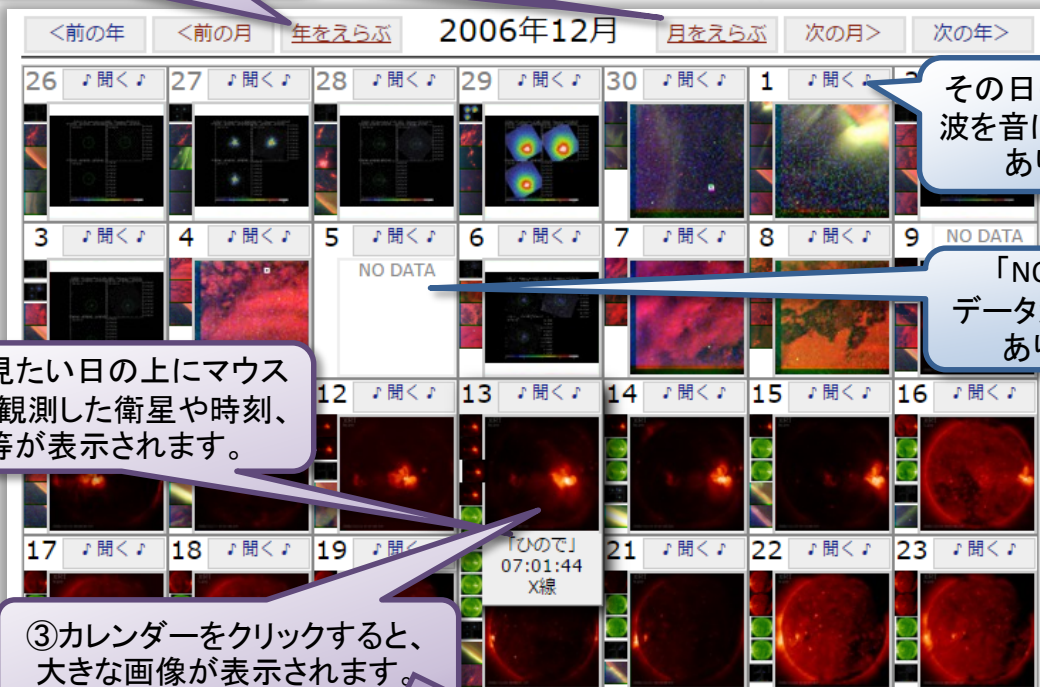
宇宙から観測した科学データ(宇宙データ)をその観測日でカレンダーに並べました。1990年からデータがあります。誕生日や記念日の宇宙データを探してみましょう。

宇宙カレンダー JAXA



クリック！

①探したい年・月を選びます。



その日の宇宙の電波を音にしたものがあります。

「NO DATA」データがない日もあります。

②詳しく見たい日の上にマウスを置くと、観測した衛星や時刻、波長等が表示されます。

③カレンダーをクリックすると、大きな画像が表示されます。

④左のアイコンに沿ってマウスを動かすと、大きな画像が変わります。

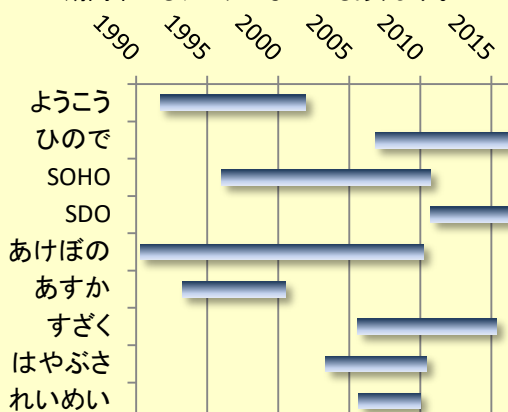
この音は、「あけぼの」が観測した電波を音に変えたものです。

⑤ オーロラのムービーはクリックして再生します。

太陽とオーロラのほか「はやぶさ」、「あすか」、「すざく」、「かぐや」のデータがあります。

データがある期間

期間中でもデータがない日もあります。

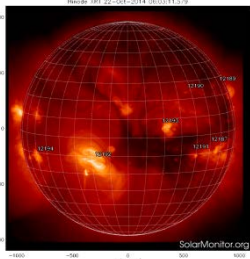


竹島ユニット長からひと言
インターネット環境があれば、どこからでも見ることができ、印刷もできますよ。

はじめての宇宙データ

宇宙カレンダーにあるいろいろな宇宙データ

◆ 太陽



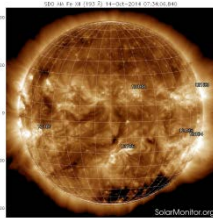
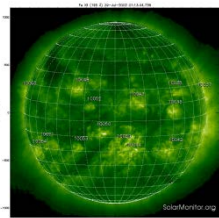
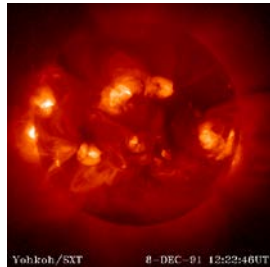
←「ひので」衛星で観測した太陽です。X線で観測したもので、太陽の外側にある「コロナ」という数百万度の大気の層を見えています。

ひので

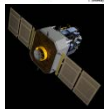


→「ようこう」衛星でX線で見た太陽コロナです。「ようこう」は「ひので」の前に活躍した衛星です。世界で初めてダイナミックに変化する太陽をとらえました。

ようこう



←左はSOHO観測機で、右はSDO衛星で観測した紫外線での太陽です。コロナより少し下の層の大気を見えています。

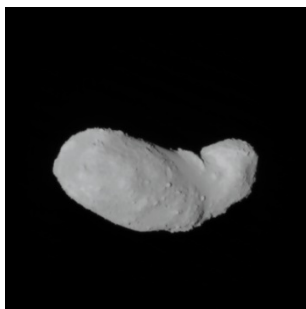


SOHO
ESA/NASA



SDO
NASA

◆ はやぶさ観測画像



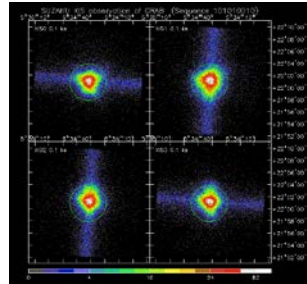
←「はやぶさ」探査機がとらえた小惑星イトカワです。これまで知られていなかった小惑星の姿を明らかにしました。

→「はやぶさ」探査機が地球に戻ってきて、大気圏に突入する直前の地球の画像です。

はやぶさ



◆ X線天体



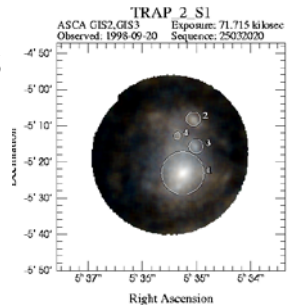
←「すざく」衛星で観測した「かに星雲」です。「かに星雲」は西暦1054年に起きた超新星爆発の残骸で、今なお強いX線を出しています。4枚の画像はそれぞれ違う「色」のX線をとらえたものです。

すざく

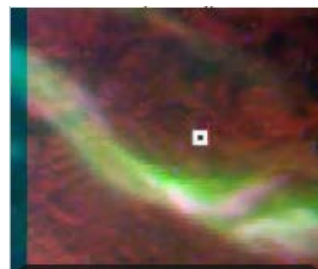


→「あすか」衛星で観測したオリオン大星雲(M42)中心部です。「あすか」は「すざく」の前に活躍した衛星です。

あすか

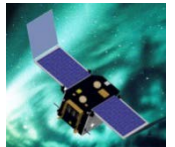


◆ オーロラ



←「れいめい」衛星で上から見たオーロラです。変化する様子をムービーで見ることができます。

れいめい



◆ 地球のまわりの電波



「あけぼの」衛星がとらえた地球のまわりの電波を、人に聞こえる波長の音に変換しました。地球のまわりの電波は、太陽活動やオーロラなどによって激しく変化します。



あけぼの